

Ⅱ 「ハッピー筋斗雲」の放送内容

〔企画意図と番組概要〕

「ハッピー筋斗雲」は、2007年7月28日に放送されたFNS27時間テレビ（フジテレビ系列）のコーナー企画である。フジテレビの説明によれば、『『日本全国、みんななまか（仲間）だ！』のコンセプトの下、今日本の中で悩んでいる人や困っている人、また、人知れず素晴らしい活動を行っている人などを紹介、香取慎吾と、趣旨に賛同した有名人たちが、その人たちに内緒で行動して、その人たちを元気づけ、喜ばせる”ことを目的としたサプライズ企画であるという。

ここで、“悩んでいる人・困っている人・素晴らしい活動を行っている人”で、“元気づけ、喜ばせる”対象の1人として選ばれたのが、東北地方で美容院を営むAさんである。彼女は、中越地震被災者やいじめ問題などで苦しんでいる学校関係者に、手紙とともに、無償で亡き父の名を冠した“十郎りんご”を送って励ましている。（なお「ハッピー筋斗雲」では他に3人の人を取り上げている）

番組は、そのAさんを東京に呼んで元気づけるために、Aさんの美容院の従業員に依頼して「Aさんが亡き父から受け継いだりんご園のりんごを無償で送るので、美容院経営が困難になっている。亡き父がいれば何と言ってくれるのかと悩んでいる」との手紙を出してもらおう。そしてそれを受けた形で、Aさんに東京での架空の講演会を依頼する。同時に、趣旨に賛同してAさんを元気づけ喜ばせる有名人として江原啓之氏をキャスティング。スピリチュアルカウンセリングを依頼して、亡き父の言葉を聞かせようとする。

「ハッピー筋斗雲」は以上のような意図と設定の下、サブタイトルに“悟空&江原啓之スピリチュアルサプライズ！”を冠して、その番組を構成する。ちなみに、メインキャラクター・孫悟空（香取慎吾）の設定は、同局の連続ドラマ「西遊記」のヒットに因んだもので、「みんななまか（仲間）だ！」もその中の決めゼリフである。

〔番組構成の概要〕

「ハッピー筋斗雲」（全編約17分）の構成は、前段と後段の二つに大別される。前段は東北地方在住の美容院経営者・Aさんの活動と悩みの紹介で、後段は江原啓之氏のスピリチュアルカウンセリングとなっている。それぞれの構成・演出の概要は以下の通りである。

前段：（1）サブタイトルに“悟空&江原啓之スピリチュアルサプライズ！”を冠して、企画VTRがスタート。「番組宛にある手紙が送られてきた」のナレーションを受けて、悟空（香取）が相談者（美容院の従業員二人）に会う。そして、父の残したりんご園のりんごを無償で送り続けるAさん

の活動が、スチールとナレーションで紹介される。

- (2) 従業員の相談を受ける形で、「リンゴをタダで送るため、美容院の経営が苦しくなってしまった！！」ことが、客のいない美容院風景を伴って、ナレーションと文字テロップで強調される。さらに、「亡き父がいれば、何て言ってくれるだろうか？」とAさんは悩んでいるという」のナレーションを入れて、「届け！天国のお父さんからのメッセージ！！」が文字テロップで打ち込まれる。
- (3) 「悟空はあの“なまか”のもとへ」の文字テロップ導入から、悟空（香取）が江原啓之氏を訪ね、Aさんにお父さんの声を聞かせてやって欲しい旨を依頼する。ここで、江原氏がスピリチュアルカウンセラーとして紹介され、「守護霊や亡くなった人の魂と交信し、その声を伝えることができるという」と説明される。
- (4) 続いて、Aさんに内緒の作戦、1. 講演会の名目でAさんを東京へ連れてくる、2. ウソの講演会をセッティング、3. 何も知らないAさんに、悟空、江原氏が亡きお父さんのメッセージを届ける、が明かされる。その間に、Aさん、悟空、江原氏、歓迎幕をつくる生徒たちの姿が、スチールや映像で挿入される。

後段：(1) 控え室で、悟空（香取）がAさんを迎えびっくりさせる。そして講演会場に誘う間、りんご山やりんご箱、Aさんの活動の紹介記事などを紹介。再び、ナレーションと文字テロップで「無償でリンゴを・・・しかし、その経費のため、自分の美容院が経営難に・・・」を強調する。

- (2) 続いて、ナレーションと文字テロップによる「果たして、亡き父からのメッセージとは？」「いよいよ、スピリチュアルサプライズが始まる！」があつて、Aさんが講演会場に登場する。ここで、悟空（香取）が講演会の嘘をばらす。会場には、参加を呼びかけられた被災地の人や学校の生徒たち（ただし、その多くは番組が用意したエキストラである）。
- (3) 文字テロップによるAさんの悩み「活動を続けたいが、その経費で美容院が経営難に」が紹介され、悟空（香取）のインタビューによって、話が“亡き父からのメッセージ”へと導かれる。
- (4) 江原啓之氏が登場。開口一番、「Aさんが悪い」と言い切る。同時に、4回目の「美容院が経営難に」が、客のいない美容院風景を伴って強調される。そして、悟空（香取）の「お父さんのメッセージを伝えて頂きたい」を受けて、スピリチュアルカウンセラーと称する江原氏の指南が約10分にわたって続く。

[江原氏登場部分の概要]

- ・江原氏：「お父さん、いらっしゃってるの。後ろにいるのね」と言ってから、りんごを送ることで人の心が信じられるようになったのでは、といったことを亡き父の言葉として。
- ・これを受けて、文字テロップが、Aさんが3年前に騙されそうになったことを伝える。
- ・Aさん、困惑の表情。
- ・江原氏：「Aさんが悪い！自分自身の生活を度外視してはだめ！」を亡き父の言葉として。
- ・ナレーションと文字テロップで、りんごを送る喜びに浸り店の経営を忘れていたことを強調。
- ・江原氏：「天職」と「適職」のバランスが大切！を亡き父の言葉として。
- ・Aさん、不審の表情。
- ・江原氏：心のご飯と食べ物のご飯の両方がないと、と説く。
- ・悟空（香取）、江原氏、Aさん、握手：「亡き父からのメッセージによって、Aさんにいつもの笑顔が戻った」の文字テロップとナレーションで終る。

27時間テレビのスタジオに戻って、悟空（香取）が“心のご飯”を繰り返す。